

高島八軒浜樋門修繕設計業務 特記仕様書

1. 業務目的

八軒浜水門は竣工後44年を経過していることから、老朽化しているため、本業務においてゲート設備の修繕設計を行う。

2. 設計範囲

下記に記載するゲート設備を修繕設計における設計範囲とする。

なお、基本的には現況と同じ仕様とし、土木施設に条件上不利とならない修繕方法を選定すること。

- ・扉体
- ・操作盤

3. 設計業務

3-1. 設計計画

業務の目的・趣旨を把握した上で、設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成する。

3-2. 現地調査

完成図書がないことから、樋門及び構造物の寸法を計測するために現地調査を実施する。

3-3. 鉄筋探査

戸当りの取壊しを行う際に、配筋を確認する必要があるため、鉄筋探査調査を行う。

3-4. 設計計算

扉体部材等の材料における設計計算を行う。

3-5. 電気設備設計

機側操作盤及び電線管等の更新設計を行う。

3-6. 施工計画

当該工事で必要となる工事の順序、施工方法及び工程計画を検討し、最適な施工計画案を策定する。

3-7. 特記仕様書の作成

機器類の特記仕様書の作成を行う。

3-8. 設計図

修繕を行うゲート設備の設計図の作成を行う。

3-9. 数量計算

作成した設計図を基に数量計算書を作成する。

3-10. 概算工事費作成

作成した数量計算書を基に概算工事費を算出する。

4. 測量業務

4-1. 作業計画

現地踏査を行った上で、測量作業における作業計画書の作成を行う。

4-2. 測量

水門の修繕設計に必要となる測量作業を行う。

①現地測量

$$A=2000\text{m}^2$$

②縦断測量

$$L=40\text{m}$$

③横断測量

$$L=30\text{m}\times 3\text{箇所}$$

5. 照査

設計手法が適切であるか、設計図面と数量計算書との整合性がとれているか照査を行う。

6. 報告書作成

成果一式の取りまとめを行い、報告書を作成する。

- ・ 報告書(紙媒体：A4チューブファイル綴じ)：2部(正副各1部)
- ・ 電子成果品(電子媒体)：2部(正副各1部)

7. 打合せ協議

打合せ協議は、以下に示す回数を想定している。

- (a) 業務着手時
- (b) 中間打合せ時(1回)
- (c) 成果品納品時